

医療介護福祉政策研究フォーラム・新春座談会

医療と介護

-それぞれの課題といかに連携を進めるか-

～医師会の視点から～

日本医師会副会長
今村 聡

平成27年1月14日(水)

「かかりつけ医」とは

なんでも相談できる上、最新の医療情報を熟知して、必要な時には専門医、専門医療機関を紹介でき、身近で頼りになる地域医療、保健、福祉を担う総合的な能力を有する医師。

「医療提供体制のあり方 日本医師会・四病院団体協議会合同提言」より
(平成25年8月8日 日本医師会・四病院団体協議会)

かかりつけ医の機能

社会的機能 : 保健・介護・福祉等医療以外の
ニーズに対応できる能力

総合的診療能力 : 他疾病が併存する高齢者に対する
診療能力

社会的機能 + 総合的診療能力 = 総合医 ≡ かかりつけ医

専門科の多い都市部では、総合的診療能力は、
ネットワークで対応する必要がある。

・健康相談、保健指導

・服薬管理

・休日診療

・学校医

・産業医

・訪問診療

・主治医意見書

・介護認定審査会委員

・退院カンファレンス

・ケアカンファレンス

・地域ケア会議

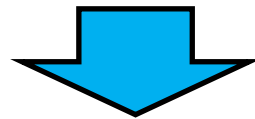
・家族のレスパイトケア

etc

かかりつけ医は、**できる限り**こうした活動の範囲を拡げ、
地域に貢献していくことが重要である。

地域でがんばっているかかりつけ医や
医療機関はたくさんあるのですが...

個々の努力だけでは、少子高齢社会を
乗り切ることは不可能



地域医師会によるバックアップが
必要不可欠

地域医師会に期待される機能



- かかりつけ医を支える役割
- 他職種連携のコーディネーター
- 病診連携のコーディネーター
- 在宅医療の調整
- 初期救急(休日・夜間診療)の運営
- 医療機能の適正配置
- 行政、住民、医師会で構成される協議会における検討
 - 医師会の自浄作用の強化
 - 生涯教育や開業前教育の強化

今後の医療・介護の提供体制とまちづくり



【日本医師会保険医療部介護保険課作成】

小・中学校区レベル(※):

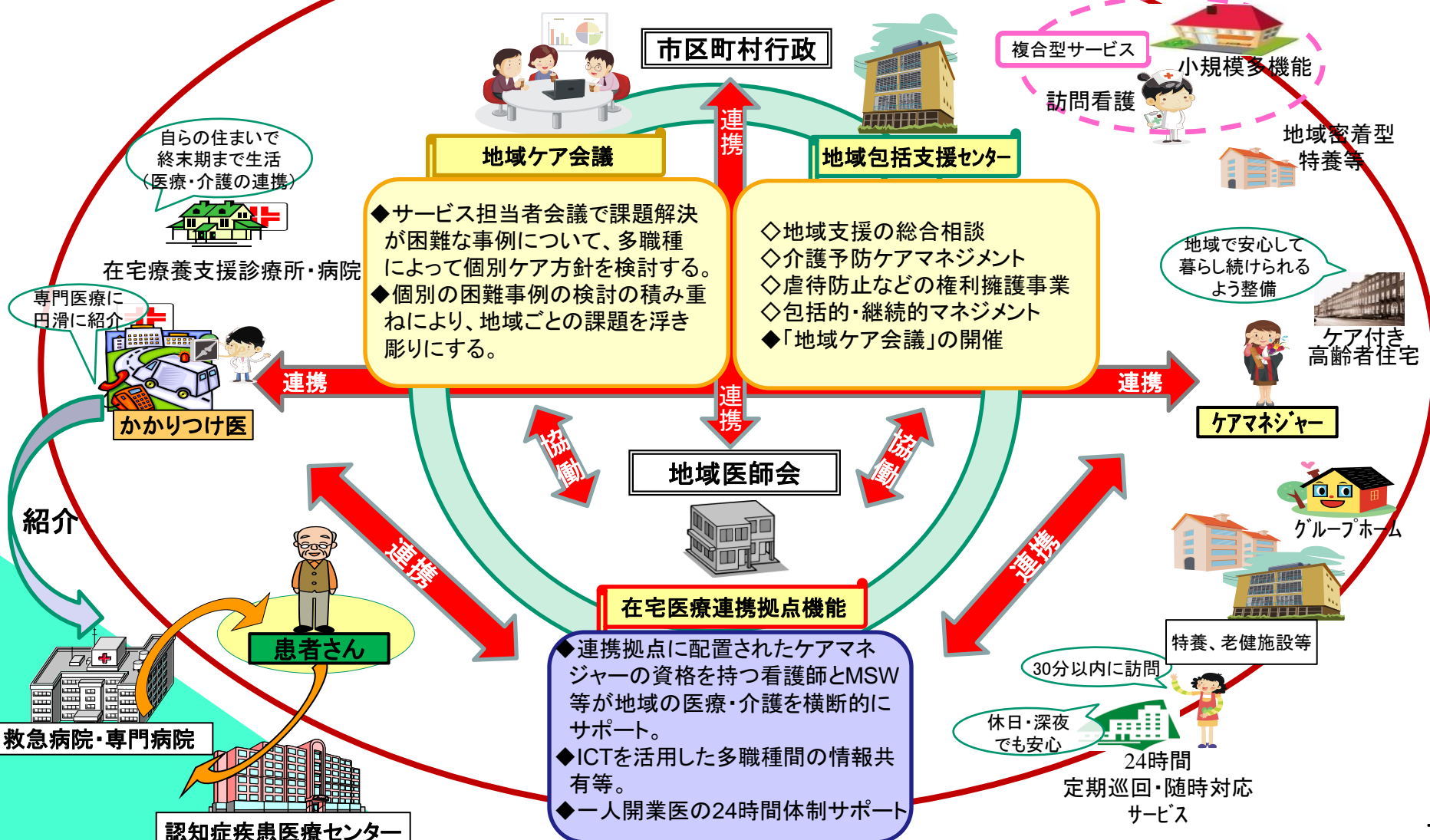
日常生活の継続支援に必要な医療・介護サービス提供体制

地域の支え合い

認知症サポーター

生活・介護支援サポーター

NPO、住民参加等



地域連携体制の構築

- **医師会主導型**
- **病院主導型**
- **行政主導型**
- **地域包括支援センター主導型**



その地域にあった連携システムを構築する
生活圏内での医療、介護、福祉、地域住民の理解、
行政の協力が不可欠である。

医療・介護のシームレスな提供体制の構築 ～実現のための3つの施策の柱～

1. 医療・介護の総合的な窓口機能 ～ワンストップで多様な相談・問題に対応～



健康のこと、介護のこと、悩みごと...
何をどこに相談したら良いのでしょうか？



様々な高齢者支援サービスがあるけれど、
どういう時にどこに行けば良いのかな？

2. 人材の養成と確保 ～多職種連携・勤務環境改善～

この地域の医療・介護のリソースは
私がコーディネートできます！



この施設は働きやすいので、
ここで地域に貢献していきたいです。



3. 住民・地域・行政への周知 ～双方向のコミュニケーション～



住民の私たちも参加して、
地域の医療・介護体制を作りたい。



私たちにも、どういう時に情報を
共有すれば良いか教えてください。

－ 住民目線から見ると －

自らが受けるサービスが医療であるのか
介護であるのかが重要なのではない。

住民にとって最も大切なことは、
安心して暮らし続けることのできる仕組み・サービスを
どのように利用することができるのか理解していること。

効果的、効率的なサービス提供システムの構築とともに、
住民が効率的にアクセスできる仕組みが必要。

1. 医療・介護の総合的な窓口機能 ～ワンストップで多様な相談・問題に対応～

Point 1: 求められる機能

- それぞれの**地域の事情**を踏まえ、
- 様々な**医療・介護資源**を把握し、
- それらを適切に**コーディネート**し、
- **ワンストップ**で患者・要介護者や家族の問題・相談に対応できること

Point 2: 実施主体について

新たな機関（ハコモノ）を作るのではなく、**既存の資源（地域医師会、地域包括支援センター等）を活用**すべきではないか。

Point 3: 連携すべき資源 例

地域医師会・歯科医師会・薬剤師会・看護協会・各職能団体、病院団体等
在宅療養支援診療所・病院
訪問看護ステーション
居宅介護支援事業所
通所型・入居型介護施設
歯科診療所、薬局
後方支援病院（地域医療支援病院） など



在宅医療連携拠点事業室
ほたる
私たちは、地域の皆様と、医療・福祉・介護を繋ぎます。

在宅医療・介護について **何でも相談伺います**
☎29-3021

住み慣れた家庭や地域で安心して療養生活を送りたい。
自宅にいながら受けられるサービスってどんなものがあるの？
日頃から身体的に不安なことがあるけれど…どこに相談すればいいのか分からない。
病院を退院した後のかかりつけ医がない！
在宅医療って、どのような人が対象なの？夜間も対応してくれる？
家族を自宅に退院させたいけど、手続きは？何を準備したらいいの？
一人暮らしで在宅療養中、生活の手伝いをしてほしい、近くに通える施設はない？
飲み込みやすい食事の作り方や、退院後の栄養管理のこと、薬のことって誰に聞けばいいの？

例：鶴岡地区医師会 在宅医療連携拠点事業室「ほたる」のリーフレット

2. 人材の養成と確保

～多職種連携・勤務環境改善～

↓主な医師会の活動(一例)↓

養成

- 医師の養成における「地域包括ケア」の視点の必要性
- 「地域包括ケア」に対応した医療専門職(特に看護師・准看護師)の養成



医学教育・医師養成への提言
医師会看護職養成所の運営

採用

- 医療専門職の地域偏在の防止・解消
- 復職・再就職の支援(マッチング・再教育)
- 独自に採用活動をする余裕のない小規模施設の採用支援



地域医療支援センターへの関与
(人材マッチング・偏在の解消)

教育

- 医師・医療専門職の生涯教育
- 小規模施設に勤務する医療・介護職の継続教育の機会創出
- 地域の抱える課題に関する教育の実施
- 「単純労働力」から「専門職」へのシフトを見据えたキャリア開発
- 地域の様々な医療・保健・福祉・介護資源を繋ぐコーディネーターの育成と配置
- 地域の医療・介護関係者の「顔の見える関係」のプロデュース



生涯教育制度の運営、研修実施

医師会病院等での研修
(地域の医療者の継続教育・資質向上)

地域ケア会議への参加・関与

連携コーディネート人材の養成
(文部科学省委託事業:多職種連携→次頁)

連携
(多職種・多施設)

離職防止

- 医療・介護職の勤務環境の改善
- 医療・介護職の離職防止・定着促進
- 各施設におけるマネジメントの改善・向上



勤務環境改善支援センターへの関与
(労務管理の向上・離職防止)

3. 住民・地域・行政への周知

～双方向のコミュニケーション～

ワンストップ機能を住民・患者・家族等にPRし、信頼関係を築く必要がある！

住民・患者・家族・地域との コミュニケーションの機会創出

○市民公開講座(例:東京都板橋区→右図)

- 療養情報の提供
- エンドオブライフの啓発
- 地域力(自助・共助)の強化
- 寸劇:退院前カンファレンス実演

○市民参加の「相談窓口の在り方」の検討

○医療系学生等と連携した啓発活動

○地域の祭り・イベント等へのアウトリーチ

○学校・公民館等の他機関との連携活動

などが考えうる。

板橋区医師会・在宅療養ネットワーク懇話会

区民公開講座

参加費 無料
申込制 250人

日時 平成25年2月9日(土) 午後2:00～4:00

会場 板橋区立文化会館【小ホール2階】
板橋区大山東町51-1
東武東上線「大山」下車3分、都営三田線「板橋区役所前」下車7分

対象 一般区民、医療・介護従事者

参加費 無料(先着250名)



**住み慣れた地域で！
最期まで安心な療養生活を続けるために！
みなさんを支える仲間が集います！**

「高齢になっても住み慣れた地域で
顔見知りの人たちとすごしていきたい！」
そうお考えの方はたくさんいらっしゃると思います。
板橋区はそれを支える仲間や施設が豊富な地域です。
当日は、みなさんを支える仲間たちをご紹介します。
最期まで安心して暮らされたいための情報をお伝えします。
どうぞ奮ってご参加ください。

プログラム

司会 板橋区医師会 在宅部理事 岩田 光正
挨拶 (14:00～14:05)
板橋区医師会 会長 天木 聡

第一部 (14:05～14:20)
◎在宅医療連携拠点センター事業について
板橋区医師会在宅医療センター在宅看護部長 井上 多鶴子

第二部 (14:20～15:05)
◎寸劇「退院前カンファレンス」
退院後の療養を支えるための準備とは！
在宅療養ネットワーク懇話会(区内多職種参加)

第三部 (15:15～15:45)
◎講演「摂食支援について(仮題)」
渋谷歯科医院 渋谷 英介先生

総括
閉会 板橋区医師会 副会長 長澤 義久

主催 社団法人板橋区医師会
在宅療養ネットワーク懇話会
後援 板橋区
協賛 在宅医療連携拠点事業
URL: <http://www.shibukyo.med.or.jp>
板橋区医師会

お申込みは裏面をご覧ください。

ご清聴ありがとうございました。

